

マット運動の様子を撮影し、互いの改善点を指摘し合う

<期待される効果>

【児童・生徒】○演技を撮影し、他者に客観的に確認してもらうことで、上手くいった点や改善点に気付くことができる。

【教師】○振り返りで見つけたポイントを意識して、改善させることができる。

<学習場面>

協働学習



<機能・ツール>

【撮影】

カメラ

<モデル事例>

○体育館にタブレットを持参し、撮影の方法や目的を児童・生徒に説明する。

①2人1組で互いに演技を撮影する。

②2人で映像を見て、良い点と改善点をそれぞれ指摘する。

③指摘を受けたポイントに気を付けて練習をする。

○①～③を繰り返す。

<ポイント>

○途中でパートナーを替えるなど、多面的・多角的な視点で指摘をできるようにする。

○大型提示装置に模範演技を流しておき、自身の演技と見比べることができるようにする。

<注意点>

○タブレットの画面を見るのでグループの人数を多くし過ぎない。

○タブレットを置く位置などを指示し、破損のないようにする。



<ハッシュタグ>

#振り返り #撮影機能 #協働指導 #主体的 #初級